

西南日本の深部低周波微動・短期的スロースリップ活動状況 (2008年11月～2009年1月) その1

- 短期的スロースリップイベントを伴う顕著な微動活動
 - 2008年11月10日～11月18日 三重県中部(2008年6月以来5ヶ月ぶり,北東及び南西に移動)
 - 2009年2月5日～2月 日 愛知県中部(2008年8月以来6ヶ月ぶり,東に移動)
- それ以外の主な微動活動
 - 2008年11月1日～11月6日, 2009年1月14日～11月18日 奈良県南部
 - 2009年1月7日～1月9日, 1月18日～1月19日 四国中部
 - 2009年1月11日～1月15日 四国東部, ○ 2009年1月20日～1月21日 四国西部

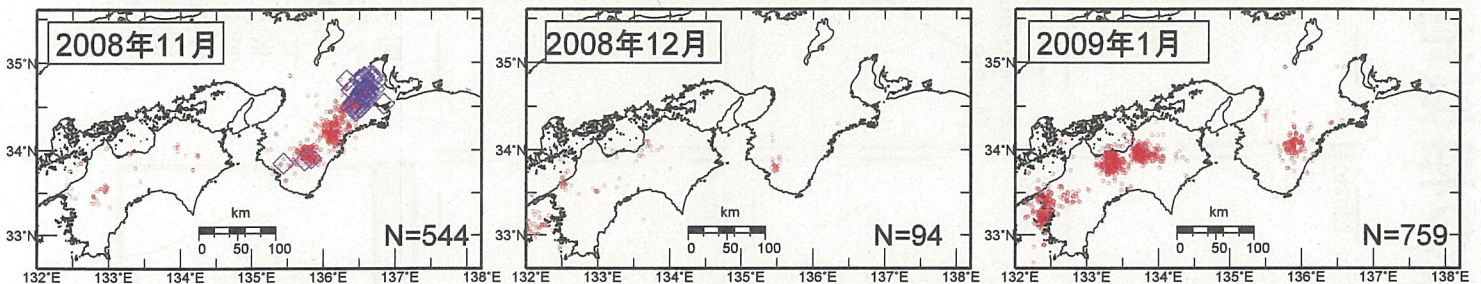


図1. 西南日本における2008年11月～2009年1月の1ヵ月毎の深部低周波微動活動. 赤丸が当該期間の微動の震央位置で, エンベロープ相関法(Obara, 2002)によって1分毎に自動処理された中で誤差が1km以内に推定されたものである. 青菱形は周期約20秒に卓越する深部超低周波地震(Ito et al., 2007)である. この期間中, 短期的スロースリップイベントを伴う顕著な微動活動は, 2008年11月中旬の三重県中部で発生し, この地域固有の周期性に調和的な活動であった.

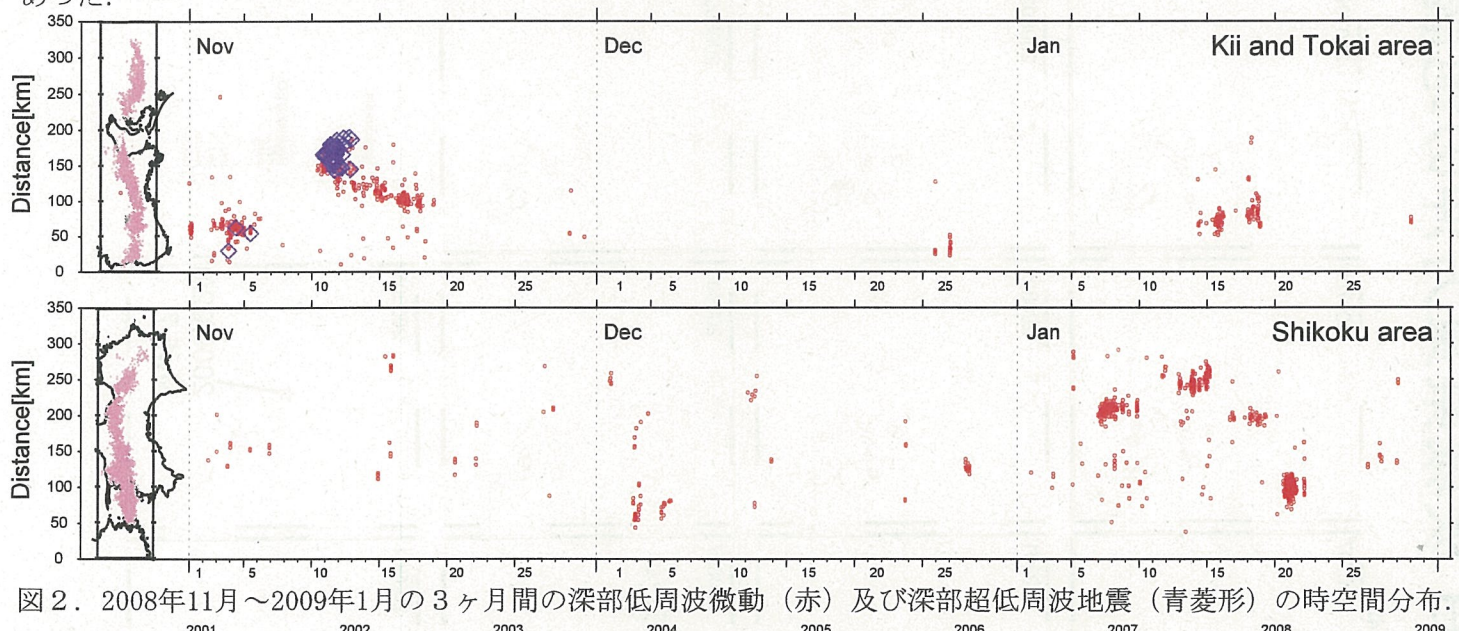


図2. 2008年11月～2009年1月の3ヶ月間の深部低周波微動(赤)及び深部超低周波地震(青菱形)の時空間分布.

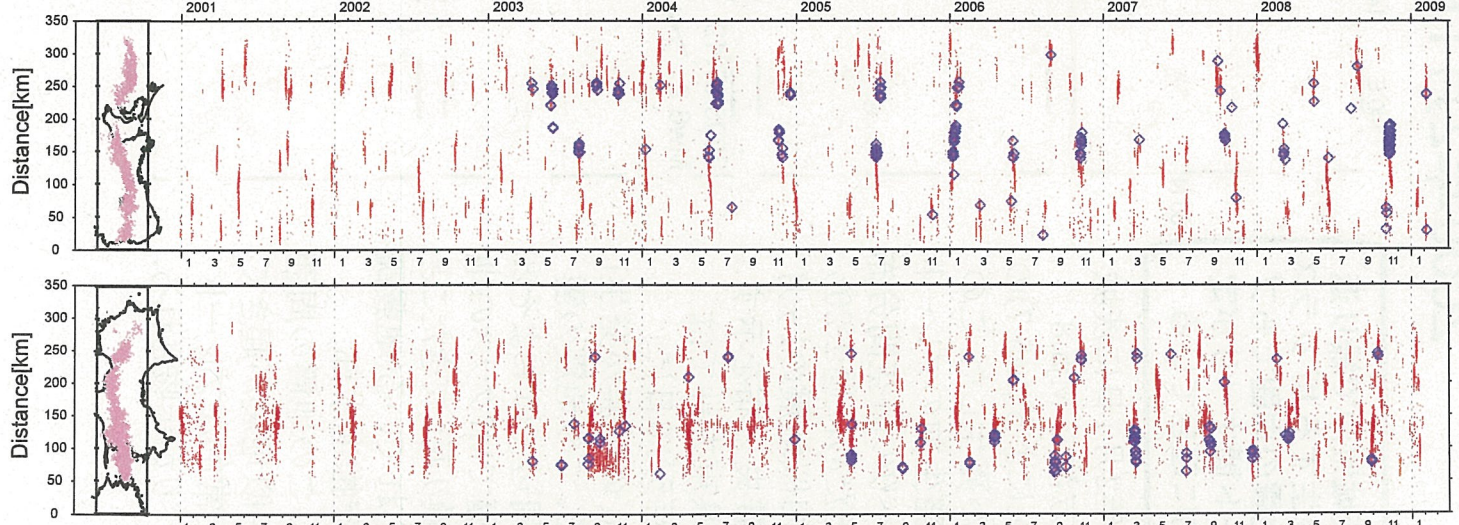


図3. 2001年1月～2009年2月までの深部低周波微動(赤点)及び深部超低周波地震(青菱形)の時空間分布.